

第1学年 道德学習指導案

指導者 木原 雅美

1 日 時 平成23年10月26日(水) 公開授業I

2 学年・学級 1年1組 33名

3 主題名 「ありがとうのきもちをもって」 内容項目 2-(4)

4 ねらい まあちゃんが遠藤さんのところへ走って行って、遠藤さんに話すことを考えることを通して、人々に支えられ、助けられていることに気づき、日ごろお世話になっている人々に感謝する心情を育てる。

5 資料名 「にこにこ花だんのえんどうさん」 (自作資料)

6 主題設定の理由

○ 主題観

人々に支えられ助けられて自分が存在していると気づくところから、尊敬と感謝の念が生まれてくる。日ごろ自分がお世話になったり、支えてくれたりする人々の存在に気づき、その思いや願いを知ることは、感謝の気持ちを深めるための第一歩となる。その人々に対して心から「ありがとう」と言えるようになるとともに、将来は自分も周りの人のために役立とうとするところまで指導を深めていくことが大切である。

○ 児童観

本学級の児童は、入学してから、たくさんに人々に支えられ助けられている。学校では大人だけでなく上級生に、家庭では家族に、学校生活に慣れないということで大事にされている機会が多い。

児童は、友達との関わりの中でも、一人では何もできないことを感じている。また、朝顔を育てる中では、植物を育てるには手間暇がかかることを体験している。さらに、お手伝いをしたことからは、毎日家族のために仕事をするの大変さを味わっている。

一方、消しゴムを拾ってもらった時などには、「ありがとう」と言っているが、毎日してもらっていることには、お世話になっているということにも気づいてないかのように思われる。自分たちを支え助けてくれている人の存在やその人の気持ちや苦勞に気づいていない児童もいる。

このように、お世話になっていることを当然のように受け止めがちで感謝する心を持つまでには至っていないように思われる。ましてや、人々や公共のために役に立とうという思いまでには至っていない。

○ 指導観

本資料は、本校にある「にこにこ花だん」を素材にした自作資料である。いつもきれいな花が咲いているこの花壇は、緑化委員会が花壇の名前を募集したほど、素敵な花壇である。本学級の児童が応募した「にこにこ花だん」という名前に決まり、児童にとっても身近な花壇である。その「にこにこ花だん」が1年前は草ぼうぼうの花壇であったと聞いて驚く主人公が、兄の「遠藤さんは、花が好きだけかな。」という問いかけに立ち止まり、遠藤さんにお礼を言いに行くという資料である。

児童が毎日この花壇を見ており、遠藤さんが花壇の世話をして下さっている姿をよく見ている。また、朝顔の栽培について遠藤さんに質問をしたことがあるため、主人公の気持ちになって考えやすいと思われる。

指導に当たっては、朝顔を育てた体験から嬉しかったことや大変だったことを振り返らせておき、花壇の維持の難しさに気づきやすくしておく。単に花が好きというだけでは続けられるものではないことに納得がいくであろう。

特に、体験の活かし方、取り入れ方としては、下記の通りとする。

導 入・・・朝顔の栽培の喜びや、心配だったこと、大変だったことを思い出させ、花のある喜びを感じさせ資料に入る。

展開前段・・・場面ごとのまあちゃんの気持ちについて、遠藤さんとのふれあいを想起させながら考えさせる。まあちゃんが話すことを役割演技で表現させ、「ありがとう」の気持ちを類型化する。

展開後段・・・遠藤さんの「にこにこ花だん」という名前の意味を聞くことで、遠藤さんの児童への願いを知る。

終 末・・・自分たちのためにして下さっているいろいろな「ありがとう」をみつけ、自分の思いを書く。

7 言語活動の充実に向けて（「みやぞの響きあいプラン」の具体的な活用）

①みんなが考えを持つ	中心発問において、役割演技をさせ、共感しやすくする。
②やさしく聞き合う	クラストークで、場面ごとの主人公の気持ちを優しく聞き合うことにより、道徳的価値についての理解を図る。
③そんぶんに話し合う	(指導過程に提示)
④ノートやワークシートにまとめ深める	振り返りにおいて、宮園小オリジナル「心のノート」に自分の思いを書かせることにより、自分の生活を見つめさせ、自分とのかかわりで道徳的価値を捉えさせる。

8 準備物

短冊・場面絵・写真・宮園小オリジナル「心のノート」

9 総合単元的な道徳学習構想図

総合主題名	ありがたいがいっぱい	実施期間	平成 23 年 9 月～10 月
めざす子ども像	毎日の生活がまわりの支えで営まれていることに気づき、感謝の気持ちを持って人に接していく子	中心項目 関連項目	2－（3）信頼友情 2－（4）尊敬感謝 4－（3）家族愛
体験に視点をあてた活動 教科・特別活動・総合他		体験に視点をあてた道徳の時間	
① 体育科 「リズム遊び」 「リレー遊び」 友達と仲良く助け合い協力することを通して、友達がいるからこそできることを感じる。 2－（3）信頼友情		② 主題名 「ともだちっていいな」 内容項目 2－（3）信頼友情 資料名 「ゆっき と やっち」 ねらい 腹痛で苦しむやっちに「先に行けよ。」と言われた時のゆっきの気持ちを考えることを通して、友達の気持ちを大切にしようとするゆっきの優しさに気づき、仲良く助け合っていこうとする心情を育てる。	
③生活科 「たねとりをしよう」 「いきものとなかよし」 植物や生き物を観察したり育てたりすることを通して、動植物を愛護する態度を育てる 3－（2）動植物愛護		④主題名「ありがとうのきもちをもって」 （本時） 内容項目 2－（4）尊敬感謝 資料名 「にこにこ花だんのえんどうさん」 ねらい まあちゃんが遠藤さんのところへ走って行って、遠藤さんに話すことを考えることを通して、人々に支えられ、助けられていることに気づき、日ごろお世話になっている人々に感謝する心情を育てる。	
⑤ 日常活動 「おてつだい」 お手伝いを通して、自分も家族の一員であると自覚する。 4－（3）家族愛		⑥主題名 「かぞくのために」 内容項目 4－（3）家族愛 資料名 「まんまるおにぎり」 ねらい 家族のためにおにぎりをつくった「わたし」の気持ちを考えることを通して、家族のために自分にもできることがあることに気づき、手伝いなどを進んで実行しようとする意欲を育てる。	
毎日の生活がまわりの支えで営まれていることに気づき、感謝の気持ちを持って人に接していく子			

- ① 友達と一緒にだから、頑張れるんだ。ありがとう。
- ② わたしも友達にいろいろ助けられているなあ。
- ③ いっぱい種が採れたよ。生きる力ってすごい。虫の声が聞こえるよ。こんなに小さいけど、命があるよ。しっかり世話をしないといけないな。
- ④ ぼくたちがにこにこ顔になるように、遠藤さんは毎日お世話をして下さっているんだ。お花を育てるって大変なのにな。ありがとうございます。
- ⑤ お手伝いをしようといわれてお手伝いをしたよ。毎日大変だったよ。いつも家族の人がしてくれていたんだ。ありがとう。
- ⑥ いつもしてもらっているばかりだけど、私たちにもできることがあるのね。何ができるか考えたいな。

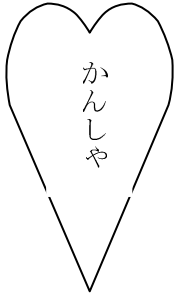
10 指導過程

段階	学習活動	おもな発問と児童の心の動き	指導上の留意点	体験を言葉で生かす指導 ☆体験を引き出す発問
導入	1 資料に関わる体験を引き出す。	○ 朝顔の栽培をして、嬉しかったことや困ったことがありましたね。教えてください。 ・芽が出たときおじぎをされていてかわいかった。 ・葉っぱが黄色くなって心配だった。 ・花が咲いたとき嬉しくてすぐにみんなに話したよ。 ・チューリップの植え方を遠藤さんに教えてもらった。楽しみだな。	○ 栽培の喜びや苦労を自由に発表させ、資料の世界に入りやすくする。	○ 朝顔の写真を提示する。 ☆ 暑くなったときはっぱが黄色になったね。
展開前段	2 資料を読んで話し合う。	○ 入学式の日にお花が咲いている「にこにこ花だん」を通った時、まあちゃんはどんなことをおうちの人と話したと思いますか。 ・お花がきれいね。 ・きれいな学校ね。 ・お花がいっぱいで嬉しいな。 ○ おにいちゃんから、草ぼうぼうだったことや、遠藤さんがきれいな花壇にして下さったことを聞いたまあちゃんはどんなことを思ったでしょう。 ・草ぼうぼうはいやだなあ。 ・知らなかったから、びっくりしたよ。 ・遠藤さんはすごいなあ。 ○ まあちゃんは、遠藤さんのどんな姿を思い浮かべているでしょう。 ・朝5時に来て、お水をあげていた。 ・朝も、帰る時も来ておられた。 ・小さな草もすぐに抜いておられた。 ・肥料をあげていた。	○ 写真を提示しながら読み聞かせをし、場面ごとの心の変化を捉えさせようにする。 ○ まあちゃんになって気持ちを語らせる。 ○ 遠藤さんの姿を思い出させる。	○ 自分たちの体験を想起させる。 ☆ 花いっぱいの花壇を通ったね。 ☆ 草ぼうぼうの花壇を想像できますか。 ☆ 遠藤さんを見かけたことがありますね。

		◎ 遠藤さんの所に走って行ったまあちゃんは遠藤さんに何を話したでしょう。 ◎ <u>ぞんぶんに話し合う。</u> 価値に関わる児童の反応を掘り下げることにより、うなずきながら聞いたり、体験を思い出したりしながら、自分たちのためにして下さっている遠藤さんの気持ちを知ったまあちゃんが、遠藤さんに話したことについて話し合う。 〈子どもの姿〉 自分たちをにこにこ笑顔にするために暑い日も、朝早くからも、一日に何度でも花壇のお世話をして下さっている遠藤さんに感謝する気持ちを表すことができる。	○ 実際に話するように語らせる。	○ 役割演技をさせる。
		・毎日水やりをしてくれてありがとうございます。 ・毎日草取りをしてくれてありがとうございます。 ・花壇にしてくれてありがとうございます。 ・草を抜いてくれてありがとうございます。 ・私たちがにこにこ顔になるためにして下さってうれしいです。ありがとうございます。 ・わたしはこの「にこにこ花だん」を見るとうれしくなります。ありがとうございます。 ・宮園小学校の好きな場所です。わたしたちのために「にこにこ花だん」を作ってくださいありがとうございます。		
展 開 後 段	3 遠藤さんの話を聞く。	○ 「にこにこ花だん」の遠藤さんに話を聞きましょう。	○ 遠藤さんから「にこにこ花だん」という名前に決めた話をしていただくことで、しっかり遠藤さんの願いを受け止めさせる。	○ みんなで花壇の名前を考えたことを思い出させる。
	4 生活を振り	○ 私たちの笑顔のためにしてくださっ	○ 宮園小オリ	○ 学校での経験

	返る。	ていることを見つけましょう。あなたは、何と言いたいですか。 ・遠藤さん，児童会に行くとき草を抜いていてくれてありがとうございます。お花を見るとにこにこ顔になります。 ・6年生のお姉さん，一緒に掃除をしてくれてありがとうございます。掃除の仕方が分かりました。 ・校長先生，横断歩道で毎朝挨拶してくださり，ありがとうございます。ファイトがわいてきます。 ・給食の先生，毎日給食の準備をしてくれて，ありがとうございます。ぼくたちは早く準備ができます。	ジナル「心のノート」を見て色々なありがとうを見つけ，思いを書かせる。	を思い出させる。
終末	5 教師の話を聞く。	○ 友達の作文を読みます。	○ 余韻を持って終わる。	○ 今までの自分を考えながら聞かせる。

1 1 板書計画



かんしゃ

場面絵 夏

にこにこがおになるために
わたしたちのために

えんどうさん
六ねんせい
こうちようせんせい
きゆうしよくのせんせい

ありがとうございます
うござい
ます。

とおるとうれしくなる
すきなばしょ
花だんをつくつてくれて

えんどうさんは、お花がすきなのかな

水やり
くさと

場面絵 春

あさがお
チューリップ

にこにこだんのえんどうさん

きれいな
きれいな
うれしいな
がっこうね

くさぼうぼう

びっくり
しらなかつた
えんどうさんはすごい

場面絵 草